

## 公式大会試合細則

第1条 連盟の公式大会は本細則により行う。

第2条 試合の回数・試合時間・リーグ戦・コールドゲーム等は次の通りとする。

1. 試合回数は9回戦。(マスターズ、シルバーは7回戦)とする。  
正式試合の成立は5回完了時とするが、5回以前でも規定時間に達したならば試合は成立する。
2. 試合開始時刻から1時間40分経過した場合は新しいイニングには入らない。  
延長戦は行わず、9回戦(マスターズ、シルバーは7回戦・試合時間1時間30分)完了または制限時間を過ぎて同点の場合はタイブレーク方式を行う。  
※タイブレークは、一死満塁、継続打順で勝敗の決するまで行う。  
但し、決勝戦の試合時間は原則2時間とする。
3. リーグ戦は9回戦(マスターズ、シルバーは7回戦)または制限時間を過ぎて同点の場合はタイブレーク方式を行わず引き分けとする。
4. コールドゲーム
  - ① 5回以降10点差、7回以降7点差になった時、試合終了とする。
  - ② 天候異変(降雨・雷鳴等)で試合続行不可能になった時、審判員の判断により試合の終了を決定する。  
注1: 5回終了した時点で正式試合とする。  
注2: 5回表を終了し、後攻が勝っている場合正式試合とする。なお、同点の場合は再試合とする。
5. 試合は本年度公認野球規則及び連盟取り決め事項により行い、使用球場のグラウンドルールは別途定める。
6. 用具は全日本軟式野球連盟公認マーク(J S B B)入りのものを使用する。
  - ① 捕手は・マスク・レガース・プロテクター・捕手用ヘルメットを使用する。
  - ② 打者・次打者・走者・ベースコーチは、ヘルメットを使用する。最低7個用意する。
  - ③ 試合球はケンコーボールA号とし、チーム負担とする。  
打順表提出時に未使用ボール2個審判に手渡し、試合中の紛失・不足分は紛失の責任チームが補充する。ファウルボール等回収は原則攻撃側が行い、汚れを落として球審に渡す。
  - ④ 金属バット・ハイコン(複合)バットはJ S B Bが印字されたものを使用する。  
なお、木製バットには公認制度がないので硬式用でも使用できる。  
※上記用具類が不備・不足の場合は、試合を行うことが出来なく不戦敗となるので監督・チーム責任者は充分注意する。
  - ⑤ サングラスの使用は審判員に申し出る。  
なお、帽子の上に乗せることと、ミラーレンズは使用禁止とする。
  - ⑥ 捕手は、捕手用ミット以外使用できない。
  - ⑦ 一塁手は、一塁手用ミットまたはグラブ使用を認める。
  - ⑧ 外野手は、捕手用・一塁手用ミットの使用できません。
6. 出場チームは、試合開始時刻30分前までに当該グラウンドに到着後、直ちに審判員へ報告し、打順表(3枚綴り)を貰い、「出場選手及び控え選手全員記入(年齢も記載)」の上、試合開始15分前まで審判員に2枚(1枚はチーム控え)提出する。  
なお、試合開始以降遅れてきた選手は、球審へ報告後試合に出場出来る。
7. 雨天等による試合の有無は、当日のグラウンド状況により当該審判員が判断するもので第1試合のチームは、必ず予定の球場に出向き審判員の指示に従う。  
2試合目以降のチームは大会本部に問い合わせする。

(大会本部の電話は03-3692-5401) なお、電話が集中するので各チーム代表1名とする。

8.新規加入チームは、原則として3部Bに所属する。

9.各大会において、1部・2部・3部A・B・マスターズの優勝・準優勝チームを表彰する。  
なお、一般も同様とする。

10.前項の1部以下の優勝・準優勝は次期大会から一つ上部に昇格する。  
(2部は1部、3部Aは2部、3部Bは3部A、3部Cは3部B)

11.各チームが3大会連続1回戦で敗退した時、次の大会から降格する。

12.前10、11項目以外のチームでも成績により昇格する事もある。

第3条 この細則の変更は、理事会の議決を経て、総会に報告する。

1.平成25年 2月23日 (全面見直しをして改正)

2.令和 2年 2月 5日 (一部改正)